

設定した解決したい課題

感染症発生動向調査の「病原体サーベイランス」業務において以下の課題を解決し、事務作業の効率化を図りたい。

1. 医療機関/保健所から調査票(患者情報)の受付・検査結果還元を紙媒体で行っている。
2. 一連の業務で使用しているいくつかのシステムが連携していない。
3. データベースが調査票(患者情報)や検査結果情報の全データ登録に対応していない。

解決の方向性 (採択企業との協議結果)

- ・ オンライン上でデータ送受信できるシステムを導入する (申請のデジタル化)。
- ・ デジタルワークフローシステムを構築する (医療機関/保健所の申請のデータベース自動反映や、詳細な検査結果のデータベース蓄積、医療機関への迅速な検査結果還元、決裁システムと自動データ連携により決裁処理を効率化する等で事務処理時間を削減)。

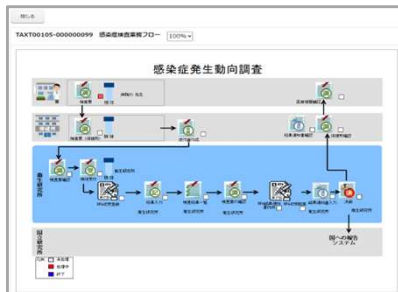


これまでの活動成果 (現状報告)

- ✓ 現状の「病原体サーベイランス」業務をヒアリングし、デジタルワークフロー設計、インターフェース設計を行った。
- ✓ 決裁フロー 2 工程のうち、1 工程のRPAを構築した。
- ✓ 実証環境を構築し、医療機関・保健所に実証内容の説明及び操作マニュアルを作成した。

現状と今後の方針

- ✓ 決裁フロー 2 工程のうち、残り 1 工程のRPAを構築する。
- ✓ デジタルワークフローシステムのアカウントを発行 (5 医療機関/4保健所/衛生研究所) し、実証実験を実施する。



実証実験の計画

- 方法：「病原体サーベイランス」業務のデジタルワークフロー化による事務処理時間の削減効果を検証する。
- 期間：2023年11月1日～12月22日
- 評価：事務処理時間、アンケート調査による操作感把握